

**令和3年度 NEANET 情報交換会**  
**【プログラム】**

1. 日時：5月18日（火）13:00～16:00
2. 場所：オンライン（ZOOM）
3. 参加者：日本海側8府県の港湾関係者  
（秋田、山形、新潟、富山、石川、福井、京都、鳥取）  
NEANET 会員

4. NEANET 情報交換会プログラム（予定）敬称略）

（1）基調講演（13:00～13:30）

講演者：北陸地方整備局 次長 岸 弘之

講演題目：「北陸港湾ビジョン 日本海北前船構想 2030」

（2）情報交換会Ⅰ部（13:30～14:50：各港10分程度）

「日本海側港湾の取り組み状況」

（秋田、山形、新潟、富山、石川、福井、京都、鳥取）

【質疑応答】

（3）情報交換会Ⅱ部（15:00～16:00）

「北東アジアの現況」(各5分程度)

①東山 茂「北東アジア交流白書（日本海側交流の近況を含む）について」

②辻 久子「日本～欧州間の物流」

③李 燦雨「朝鮮半島情勢」

④鈴木 勝「ポストコロナの観光戦略」

⑤田中 弘「一带一路の現状」

⑥小玉 朋恵「デジタル覇権をめぐる動き」

⑦本間 邦興「モンゴルの近況」

⑧西盛祐吉郎「日本海港湾間の連携について」

【質疑応答】

※講演タイトルは現時点での案です。

また発表時間は若干前後することもありますこと、ご了承願います。

【参加申込方法】

■参加希望者は、ご所属・ご氏名、メールアドレス（連絡先、ZOOM招待メール送付先）を下記事務局あてにメールでお申込みください。

■申込締切日：令和3年5月12日（水）

■Zoom招待メール：5月17日（木）にご指定のメールアドレスに招待メールをお送りいたします。

■連絡先：NEANET事務局（担当：小玉）E-Mail: [neanet@oboe.ocn.ne.jp](mailto:neanet@oboe.ocn.ne.jp)

TEL:070-3764-7012（小玉携帯）

# NPO北東アジア輸送回廊ネットワーク (NEANET) ＜ポストコロナの観光戦略～北東アジア & 日本～＞

鈴木 勝 (NEANET理事)  
(大阪観光大学名誉教授/元・桜美林大学教授)

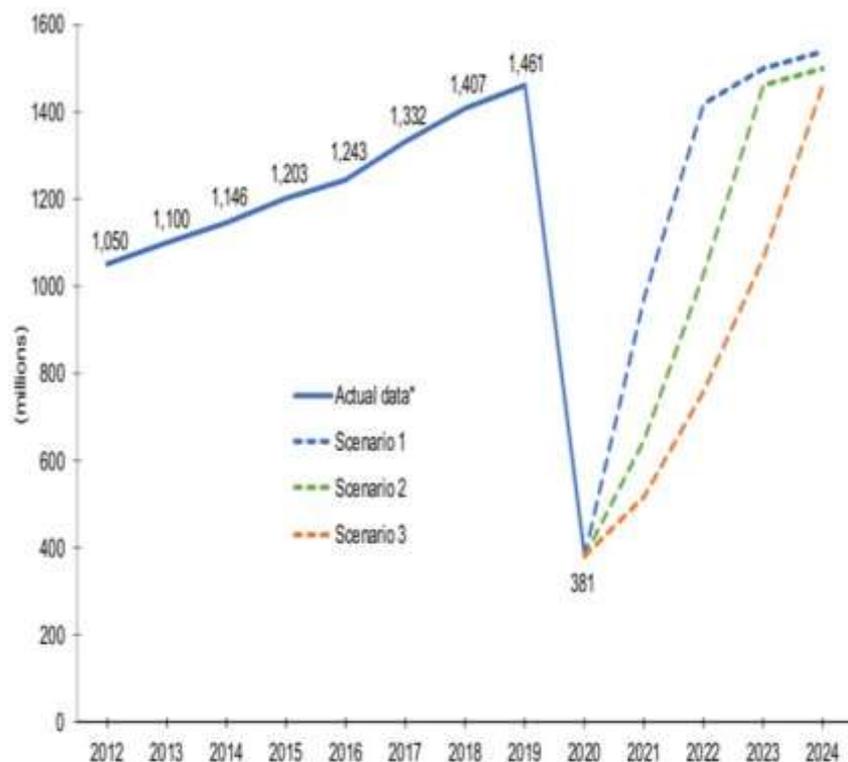
## 1. コロナ禍大打撃の国際観光と“観光立国ニッポン”

### ● 国際旅行者数の推移



資料：UNWTO ※宿泊を伴う旅行者の到着数

International tourist arrivals: Scenarios for 2021-2024 (millions)



Source: World Tourism Organization (UNWTO)

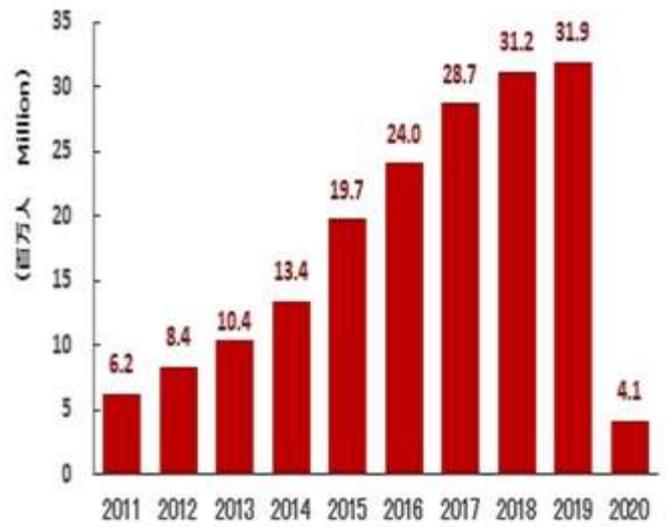
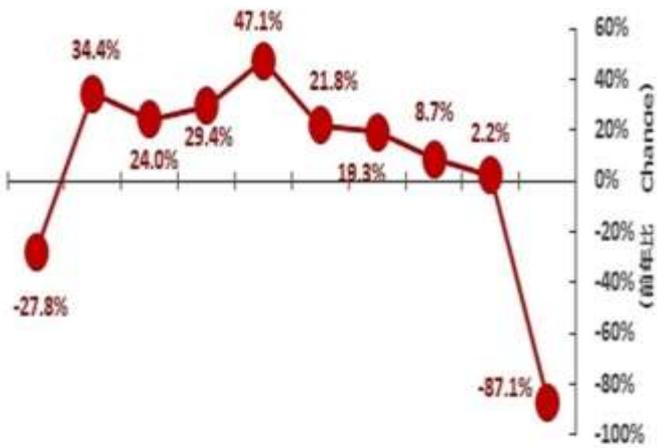
(Data collected January 2021)

\* Actual data for 2020 is preliminary and based on estimates for countries which have not yet reported results.

## 2. 復活シナリオ(1)「国内観光復活」(都道府県)内⇒隣県など地域内⇒日本全域

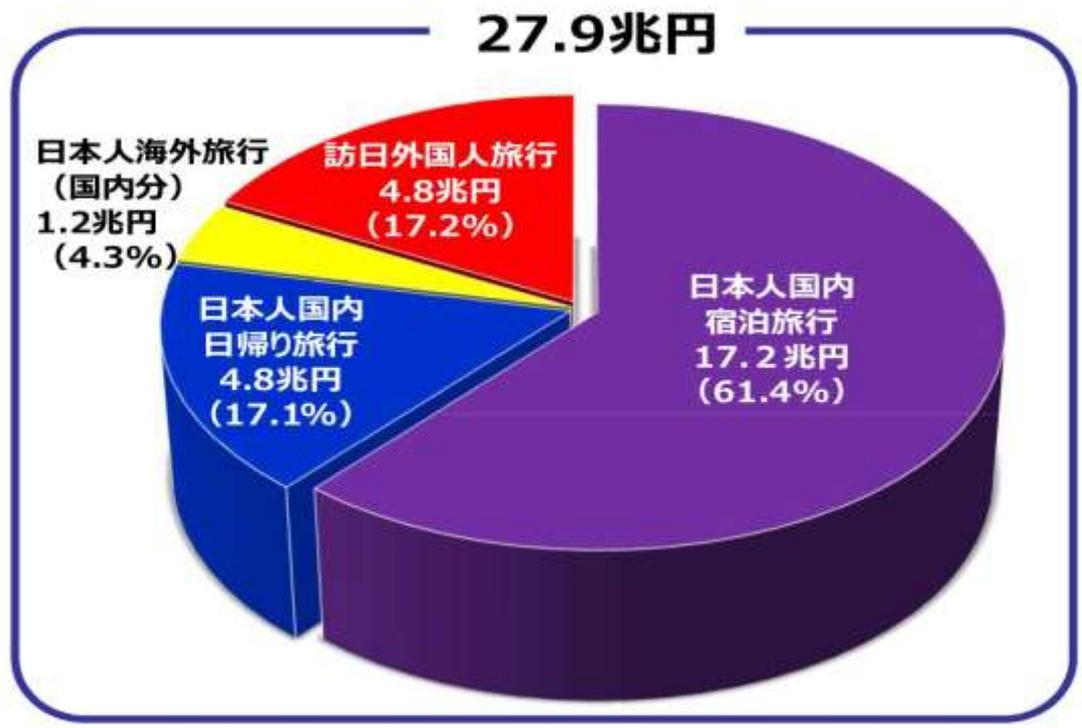
訪日外国人数 直近10年間 2020年版

Visitor Arrivals to Japan for last 10 years - 2020



出典: 日本政府観光局 Source: Japan National Tourism Organization

(図表 I -31) 日本国内における旅行消費額



資料: 観光庁「旅行・観光消費動向調査」及び「訪日外国人消費動向調査」より作成

**[国内観光需要の徹底的な掘り起こし]**

- 日本人海外旅行者2000万人 (クルーズ愛好者)
- 在日外国人(280万人)

## 2. 復活シナリオ(1)「国内観光復活」

・「地域活性化」(広域連携/有能なDMO/観光人材)

「GO TO トラベル」キャンペーンの効用

「今後の旅行形態」

### ツーリズム産業の構成

(社)日本ツーリズム産業団体連合会 Tourism Industry Association of Japan



★休暇の分散化を進める旅行スタイル  
 [ワーケーション]:テレワークを活用。  
 [ブレジャー]:ビジネス+休暇

●団体旅行⇒FIT(個人旅行)化  
 (ビジネスの大型会議、学校の大型修学旅行が減少)

●「都会派」⇒「自然・地域・滞在派」  
 エコツーリズム・グリーンツーリズム・  
 ファームステイ・ロングステイ・  
 (地産地消型)フードツーリズムetc.

★「地域活性化のために・・・」

●広域連携(温泉街・港湾都市etc.)

●有能なDMO(観光地経営組織)

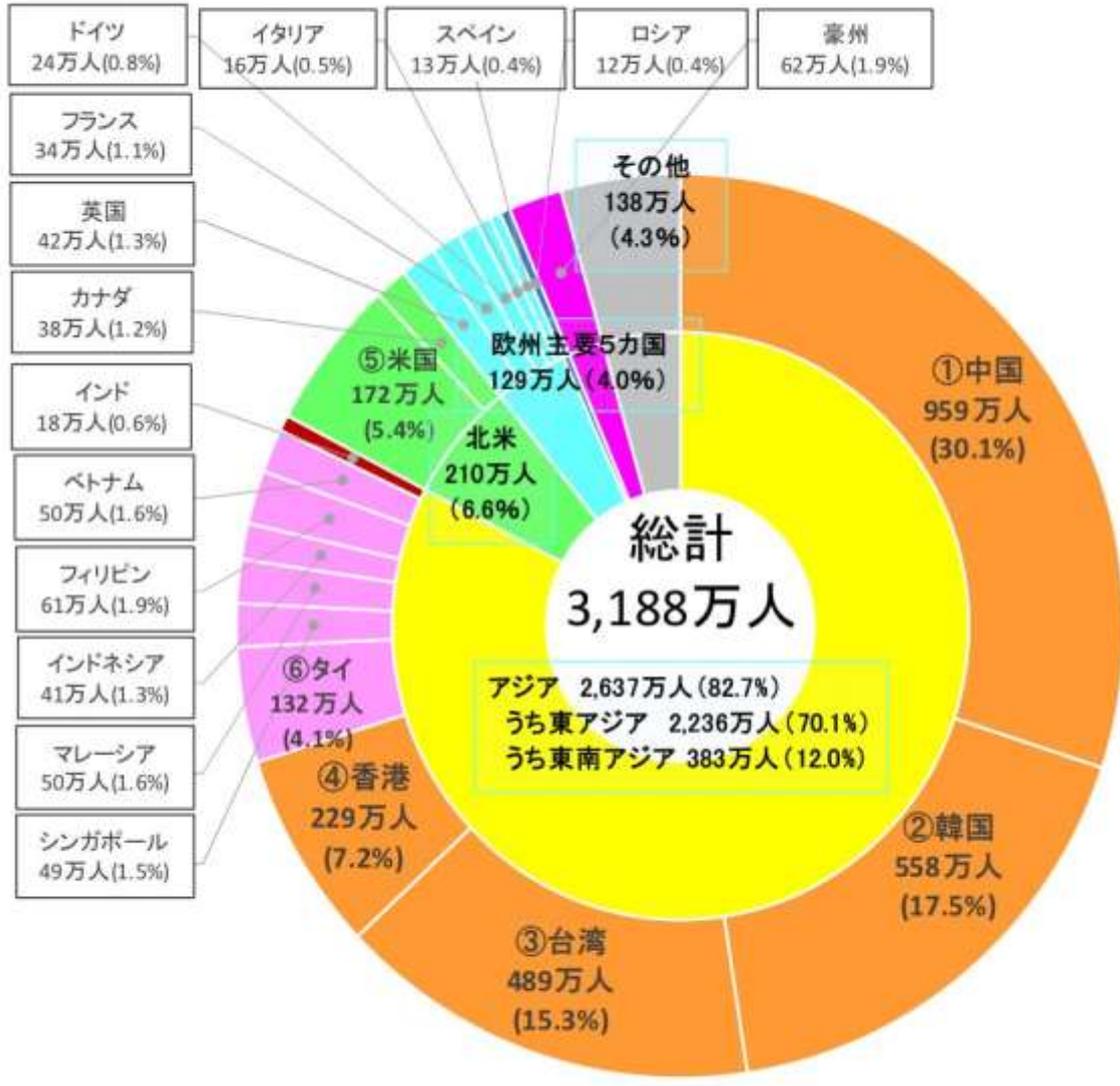
●観光人材

## 2. 復活シナリオ

### 2) 「国際観光復活」 ★日本インバウンド上の 諸課題解決

- 「人員数」⇒「質」  
経済貢献度を目標
- ▶ 「ゼロドル・ツーリズム」「観光  
リーケージ(利益漏出)」の排除
- ▶ (注)クルーズ客の経済貢献度
- 「偏らない“送客国”」  
⇒中国・韓国以外に注力  
(重点)ASEAN・欧米豪
- 「オーバーツーリズム」防止

(図表 I -11) 訪日外国人旅行者の内訳 (2019年)



資料：日本政府観光局資料に基づき観光庁作成  
 注1：（ ）内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア  
 注2：「その他」には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。  
 注3：数値は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。

## 2. 復活シナリオ 2)「国際観光復活」

### ★海外諸国との柔軟な対応 & 厳格な防疫態勢

(ビジネス、実習生/留学生、VFR親戚知人訪問、一般観光etc.)

●「ビジネストラック」「レジデンストラック」(渡航:短期&駐在など長期)

●「トラベルバブル(TRAVEL BUBBLE)」

(特定の条件が満たされたバブル[泡]の中の人々だけが自由に行き来)

例:「オーストラリア&ニュージーランド」(4月19日開始)

▶ 「バルト三国」(エストニア、ラトビア、リトアニア)

▶ 「台湾&パラオ」(4月1日開始)

▶ (変則)「香港&シンガポール」(5月26日開始予定)

▶ ●<新規>「海外旅行客・受入(ワクチン接種の条件)」

▶ EU:ギリシャ・イタリアetc. (5月中旬からスタート)

### ▶ 3) 北東アジア地域の復活&振興

▶ ★国々に応じた復活&振興手法

▶ (ビジネストラック・レジデンストラック・トラベルバブル)

▶ ★「(北東アジアでの)注目ツアー&客層」

FIT個人旅行/リピーター/ボーダー(国境)ツアー/アドベンチャーツアー  
/ロングステイ(長期滞在)/クルーズ・海洋周辺ツアーetc.

▶ ★国内&海外へ情報発信・マーケティング戦略・観光人材共同育成

[了]